



太陽の子さが丘保育園

評価結果

2015年3月

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関第26号 横浜市福祉サービス第三者評価指定機関第17号

評価実施機関：特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201号

TEL045-228-9117・FAX045-228-9118

<http://www.yresearch-center.jp>



実施概要

事業所名	太陽の子 さちが丘保育園	
報告書提出日	2015年3月12日	(評価に要した期間6か月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター	

*評価方法

1. 自己評価	【実施期間：2014年10月1日～12月15日】 ・職員会議で趣旨を説明し、すべての職員に配付、期日を決めて記入した。 ・昨年、園としての自己評価の準備として一度記入した。
2. 利用者家族アンケート調査	【実施期間：2014年11月10日～11月25日】 配付：全園児の保護者(52家族)に対して、園から手渡しした。 回収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査	【実施日：2015年1月14日、1月16日】 第1日目 午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午後：書類調査～事業者面接調査(園長、主任) 第2日目 午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午後：職員ヒアリング(クラスリーダー6名、主任、看護師、栄養士、非常勤職員)～事業者面接調査(園長、主任)
4. 利用者本人調査	【実施日：2015年1月14日、1月16日】 ・訪問日両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子などを観察。 ・乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間などに適宜聞き取り調査を実施。

評価結果についての講評

(高く評価できる点、独自性のある点、今後期待される点、工夫改善点などについての総括)

【施設の概要】

太陽の子さちが丘保育園は、相模鉄道線二俣川駅北口から徒歩 8 分ほどの 5 階建てマンションの 1 階部分にあり、平成 24 年 4 月、長谷川興産株式会社が開設しました。周囲は集合住宅が多く、交通量も多いところですが、竹林や大きな木もある昔からの家もあり、緑も豊かなところです。

園は L 字型の廊下に沿って 5 つの保育室(4、5 歳児は合同)があり、どの部屋も大きな窓から陽光が取り込めるようになっています。他に事務室兼医務室、調理室、沐浴室、トイレなどがあります。広くはありませんが園庭もあり、プランターが置かれ、かけっこやシャボン玉、夏にはプール遊びなどもできます。

定員は 75 名です。延長保育、一時保育を実施していて、開園時間は平日は 7 時 30 分から 20 時、土曜日は 7 時 30 分から 18 時 30 分です。

保育理念は法人共通で「のびのび すくすく にこにこ 子ども・保護者・地域・保育者 みんなで感動を分かち合い、満足できる、笑顔あふれる保育園を目指します」と定め、理念を基に保育目標を「・心身共にたくましく元気な子ども・友達と仲良く遊び思いやりのある子ども・感性豊かで自分で考え行動ができる子ども」とし、保育方針を「・安心できる人間関係、整った保育環境の中で自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図ります・様々な経験や人との関わりの中で、温かい人間性と豊かな感性を持った子に育てます・子育て支援や地域との交流を深め、存在感のある保育園になるよう支援の充実に努めます」としています。

1. 高く評価できる点

子どもたちは一人一人大切にされ楽しく元気よく過ごしています

子どもたちは登園から降園まで、せかされたり待たされたりすることがほとんどありません。朝、0、1 歳児の登園の時、保護者に抱かれて来た子どもは、保育士も抱っこして挨拶を交わし、中には自分のタオルをタオル掛けに掛けるなど保護者の手伝いをする子どももいますが、優しく見守っています。どのクラスも食事の始まりは一緒に挨拶をして始めますが、終わるのは子どものペースで遅くても保育士は食べ終わるのを待っています。その間に食べ終わった子どもは待たされず、他の保育士と歯磨きやうがい、トイレや着替えをして午睡の準備をしたり絵本を見たりしています。

自由遊びの時、いくつかのコーナーを作って好きな遊びをしています。たまたまみんながブロック遊びになってしまうと、他の物を片付け広くしたところで、3 歳児が長い列車を作ったり、高い塔を作ったりしました。保育士はほめたり、トンネルになってあげたりしています。4、5 歳児は同じ保育室で過ごし、4 歳児は 4 月からずっと 5 歳児を見ているので、給食当番等も手際よく楽しそうに会話をしながら食事をし、おかわりもしています。保育士は活動の区切りなどに絵本の読み聞かせや手遊びなどを取り入れ、そのような時、子どもたちは集中して楽しんでいます。

天気のよい日は散歩や公園遊びをしています。異年齢のクラスで行く時は自然に年長児が外側になり手をつないで行き、出会う近隣の人に保育士が丁寧に挨拶をすると、一緒に挨拶をしたりハイタッチをしたりする子どももいます。公園などでは、1 歳児は楽しそうに保育士手作りの凧揚げをし、2 歳児は見守る保育士のところまで勢いよく駆けて行き、一人一人腕に抱き止めてもらうのを、嬉しそうに何度も繰り返してい

ます。3～5歳児はかなり遠くの公園まで行きますが、元気よく遊んだ後も、年齢が高い子どもほど元気よく帰って来て、体力がついているのがわかりました。午後の午睡の時間には、5歳児は短時間体を休めた後、就学に備えて午睡を止めています。小さい子どもが午睡から目覚める頃は、その保育室に行って着替えの手伝いをしたり一緒におやつを食べたりしています。する方もされる方も本当のきょうだいのように嬉しそうなよい表情をしています。

子どもたちは保育園生活を楽しみ、年下の子どもへのいたわりを学び、元気よく育っています。

職員は話し合いを重ね協力して保育をしています

職員は保育室等では自然に業務を分担し、例えば1人は食事の準備、1人は読み聞かせ、1人はトイレに行く子どもの世話等を行っています。新人保育士にはクラスリーダーなどが指示を出すこともありますが、慣れた保育士は阿吽の呼吸で動いているようです。給食を持って来ると、保育士同士も「ありがとうございます」と丁寧に挨拶をしています。

職員会議やクラス会議等でも話し合いは活発で、報告・連絡はもちろんですが、ケース検討なども重視しています。食事の後午睡の時間も、子どもたちが寝入った頃は見守りの保育士以外は事務所で会議をしたり休憩を取ったりします。子どもたちの保育に関して話がはずみ賑やかなくらいです。事務所は園長、主任、看護師等の執務室でもあるのですが、ヒアリングでも気兼ねなく言いたいことが言えるとのことでした。このような話し合いの中から業務改善につながることもあり、保育室の動線を考えてのパーテーションの配置、スリッパの消毒方法、土曜日のシフト、リーダー会議の設定等職員からの意見を取り入れたことは多いようです。園長の「園は保育士が宝、みんな仲良く来年度退職する人も誰もいない」との言葉通りヒアリングでも職員の「働きやすい職場」「職員の関係性がよい」「主任等子育ての先輩としても相談できる」「ずっとここで働きたい」などの声を聞くことができました。

2. さらなる工夫が望まれる点

マニュアルの園独自の見直しや手順書の整備を

園には運営会社の共通のマニュアルがよく整備されていますが、法人のマニュアルということで、話し合いが活発な園であるのに、見直すことも改訂することもありません。しかし、園の置かれている状況は太陽の子保育園で同一ではないので、マニュアルを身近なものとして使い勝手がよいものにするために、毎年一定の時期に見直して、例えば園に合わせた手順書を作ることなどが望まれます。園では細かい業務の手順も口頭で周知していることもあるので、今後の入職者等のためにも文章化しておくことも望まれます。

子どもたちにとってよりよい環境構成を

園は清掃がよく行われ、手作りのおもちゃやパーテーションなども多く、絵本の読み聞かせやわらべ歌、リトミックなどを保育に取り入れ、子どもたちの発達を支えています。

今後、例えばおもちゃの質と量は現在の物で十分かどうか、また保育室の壁面はすっきりとはしていますが、子どもの作品を飾り子どもの意欲を引き出したり、心地よさを感じさせたりする壁面構成としてはどうか、役割を考慮したパーテーションの配置はよいかなど、環境構成が子どもにとってよりよい影響を与えるように考えていくことが期待されます。




分類別評価結果




「ひょう太マーク」は、各評価分類の水準を表しています。
 3 つ：高い水準にある 2 つ：一定の水準にある 1 つ：改善すべき点がある



評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重





評価分類	評価の理由（コメント）
I-1 保育方針の共通理解と 保育課程等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の理念は「のびのび すくすく にこにこ 子ども・保護者・地域・保育者、みんなで感動を分かち合い、満足できる、笑顔あふれる保育園を目指しています」と定め、理念を基に保育目標を「・心身共にたくましく元気な子ども・友達と仲良く遊び思いやりのある子ども・感性豊かで自分で考え行動ができる子ども」とし、保育方針を「・安心できる人間関係、整った保育環境の中で自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図ります・様々な経験や、人との関わりの中で、温かい人間性と豊かな感性を持った子に育てます・子育て支援や地域との交流を深め、存在感のある保育園になるよう支援の充実に努めます」とし、利用者本人を尊重したものとなっています。 ・理念や保育目標、保育方針は、全職員に配布されている「園のしおり」に記載され、職員会議でも説明され職員は理解しています。理念や保育目標、保育方針に沿って指導計画が立てられ実践されています。 ・保育課程は子どもの年齢・発達に沿って作成し、保護者の就業状況、周辺の地域の自然、交通量、公共機関、住宅等の実態を考慮して、子どもの最善の利益を第一義にしています。 ・乳児等言語化できない子どもの表情・態度から意思を汲み取っています。幼児には意見・要望を聞き、楽しい活動になるように考えていて、子どもの意見・要望を聞いて指導計画の見直しに活かしています。指導計画には柔軟性を持たせ、子どもの要望でボール遊びを取り入れたり、散歩の行き先を選んだりしています。
I-2 子どもの発達や状況に 応じた適切な援助の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月入園者には入園前に児童票・児童健康台帳を記入してもらい、入園説明会を実施し、保護者に面接しています。年度途中の入園者には、児童票・健康台帳を記入して持参してもらって面接し、個々に丁寧に説明しています。面接時の子どもの様子を複数の職員で観察し、気付いたことを職員に知らせ共有しています。 ・短縮保育（ならし保育）はおおよそ1週間としていますが、保護者や子どもの状況に配慮して無理のないように進めています。乳児は月齢に応じて担当者を決めるなど、子どもが安心して生活できるようにしています。入園説明会で職員を紹介し、保護者が安心してできるように配慮しています。 ・年齢別の指導計画や個別指導計画は、子どもの発達や状況に応じて作成し、定期的に見直すほか必要に応じて評価や見直しをして、次の計画


	<p>を作成しています。個別指導計画については、保護者の意向を聞き、納得がいくようにしています。</p>
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外の清掃はよく行われています。担当者が決まっています。日々清掃し、トイレなどはチェック表をつけています。すべての保育室は広い窓から十分陽光を取り入れられる構造になっていて、午睡時等は、カーテンで遮光しています。施設内の温・湿度については、温・湿度計を置き、エアコン、加湿器、濡れタオルなどで調整しています。 ・0歳児の保育室の一角に沐浴室があり、幼児の共用トイレの中に温水シャワーの設備があります。どちらもいつでも使用できるようになっています。 ・保育室には、手作りのパーテーションがあり、活動に応じて保育室を区切り小集団保育が行われるようにしています。長時間保育等の活動、リトミックやお楽しみ会等異年齢で楽しむことも多いです。午睡を定期的に行わなくなった5歳児が、低年齢児の保育室に行って着替えの世話をするなど、する方もされる方も楽しそうに異年齢で交流している場面も見られました。
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・0、1、2歳児については、子どもの生育歴や心身の発達を考慮して、個別指導計画を作成しています。3歳以上の幼児についても特別な課題がある子どもや気がかりな子どもの場合には、個別指導計画を作成しています。個別の目標・計画は、毎月の職員会議でもケース検討として話し合う時間を持ち、子どもの発達状況に合わせて柔軟に対応しています。 ・入園後の子どもの成長発達については、健康台帳、保育記録等に記載しています。子どもの記録は、事務所の鍵のかかるロッカーに保管していますが、職員は共有して必要な時いつでも目を通すことができます。重要な申し送り事項は、進級時には必ず伝達しています。
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する子どもを受け入れる姿勢があり、現在配慮を要する子どもをクラスで保育しています。個別のケースについて、クラス会議や職員会議で話し合い、記録を取っています。研修を受けた職員は報告し、結果を全職員で共有して、得た知識を保育に活かしています。 ・園は段差がなくバリアフリー構造になっていて、広い廊下やユニバーサルデザインのトイレなど車椅子にも対応できる設備があります。横浜市西部地域療育センターなどと連絡を密にして助言や情報を得て、保護者とも話し合い、効果的な保育が行えるように努めています。 ・毎年、虐待の定義や最近の情報を職員に周知しています。視診を注意深く行ったり、無断欠席の場合の家庭への連絡について決まりを作ったりしています。また、虐待に至らないように家庭支援の必要と思われる保護者に、さりげなく声かけをしたり面談をしたりして保護者の育児不安をなくすように努めています。 ・アレルギー疾患のある子どもについては、かかりつけ医の指示書を受け、職員は共有して適切な対応を行っています。食物アレルギーにおいて

	<p>は、医師の指示書を基に、園長、看護師、栄養士、担任が保護者と面談し、完全除去のみ、除去食を提供していて、園長、栄養士、担任でチェックをし、専用トレイにネームプレートをつけています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍や帰国子女等については、保護者とよく話し合っ、文化や生活習慣、考え方の違いを認めるとともに、日本での生活に困らないように支援しています。言葉が通じにくい場合は、手紙にかなをふったり、ひらがなで書いたり、身振り手振りで伝えたり、通訳をしてくれる人を探したり、区役所に支援を求めたりしています。
<p>I - 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「苦情相談窓口」についての文書が保護者に配布され、入園説明会等で説明され、園の玄関にも掲示されています。要望・苦情を受け付ける担当者として園長、苦情解決責任者として運営会社の保育事業部長が決まっています。 ・民生委員・児童委員が2名第三者委員として決まっ、直接苦情を申し立てることができます。意見箱の設置、懇談会や運営委員会での意見聴取、年度末の無記名アンケートなどで、進んで保護者の要望や苦情を聞いています。 ・園独自で解決困難な場合は、外部の権利擁護機関としては、かながわ福祉サービス運営適正化委員会と連携しています。過去の苦情・トラブルや要望のデータは整理して解決策もファイリングし、その後の解決に活かしています。個人情報でない、保護者が共有できる意見は、回答を園だよりなどで知らせています。



評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもちゃや教材、絵本などは自分で取り出して遊べるように種類ごとに箱に収納され、側面には絵や写真を貼ってわかりやすいように工夫されています。 ・ 年齢や発達にあった絵本や手作りのおもちゃが用意され、また、おもちゃを季節やクラスで入れ替えています。 ・ 子どもたちの発想、発信を大切にして、一斉活動に取り組む柔軟な配慮をしています。 ・ 年齢に応じて、集団で遊ぶ楽しさを知らせ、ルールのある遊びを取り入れています。 ・ 夏はプランターでオクラやなすなどを栽培して、水やりや収穫を体験しています。保育室ではメダカやタニシを飼ったり、散歩でみつけた虫を図鑑で調べたり、興味をひろげています。 ・ 幼児は毎週１回リトミックを、乳児はわらべうたを取り入れて身体表現を楽しんでいます。 ・ 子ども同士のけんか等については、年齢に応じてお互いの気持ちを受け止め、納得して解決できるように見守っています。乳児は保育士が間に入って気持ちを代弁しています。また、職員間で話し合い、子どもへの対応を統一させ、混乱のないようにしています。 ・ 日々散歩を楽しんでいます。散歩先は発達過程に合わせて、距離・行先・ルートを考慮しています。
<p>Ⅱ－１ 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「楽しく食事する」ことを大事にしています。適量をよそい、食べきる喜びが自信になるように配慮しています。無理強いして食べさせないことを職員研修で共有しています。 ・ 3・4・5歳児は当番がバンダナ、エプロンをつけ、配膳をしています。また、栽培している野菜を収穫してクッキングをしたり、とうもろこしの皮むきをしたり、食に対する興味をもつようにしています。 ・ 季節や行事に合わせて、旬の食材や彩りに工夫し、子どもたちが喜ぶ食事作りをしています。 ・ 栄養士がほぼ毎日食事の時間に保育室を訪れ、実際に食べている様子を見たり、子どもの声を聞いたりして子どもたちの喫食状況を把握して献立の作成、調理に工夫しています。 ・ こどもたちに人気のメニューのレシピを紹介しています。また、玄関にその日の給食・おやつサンプルを示し、保護者が食事に関心をもてるようにしています。 ・ 0,1歳児は布団で、2歳以上はコットで午睡しています。午睡を強制することはありません。眠れない子どもも静かに安静休息できるように見守っています。 ・ 0～2歳児は5分おき、3歳以上は10分おきに呼吸チェックをしてい




	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄は個人差を尊重し、一人一人に合わせた対応をしています。 ・トイレトレーニングは個別にすすめています。クラス会議、職員会議で話し合い、共通意識を持って接しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・ 安全管理[健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは毎日家庭で検温してから登園しています。看護師はできるかぎり玄関に立ち、登園してくる子どもたちの健康状態を把握しています。さらに各クラスを毎朝周り、確認しています。 ・年に２回の健康診断、年に１回の歯科健診の結果は健康台帳に記載しています。その結果は保護者に書面で伝えています。 ・感染症等への対応に関するマニュアルがあります。また、保護者には「入園のご案内」で日常の登降園基準を知らせ、また、感染症について基礎知識や発症後の登園基準を知らせています。 ・感染症が発症した場合は玄関に掲示する他、ホームページなどにも掲載し、情報の提供をしています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・ 安全管理[衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生に関するマニュアルがあり、保育室、調理室、トイレ等マニュアルに沿った清掃が、看護師の指導の下おこなわれ、清潔・適切です。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・ 安全管理[安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、事故防止、事故対応、緊急連絡先、避難場所の周知、クラス毎の安全点検チェック表などの安全管理に関するマニュアルがあります。 ・安全管理マニュアルには園児の状況把握、日常環境の整備、危険予知、未然防止のための措置や園内、散歩時、水遊び、事故、けがなどそれぞれの場合を想定した対応が記載され、職員に周知しています。 ・子どものケガについては軽傷であっても必ず保護者に降園時に口頭で伝え、登降園表に記載し、翌日その後の様子も把握するよう努めています。また保健日誌にも記載しています。 ・不審者等の侵入防止策として、出入り口は常に施錠され、ICカードで管理され、防犯カメラも設置されています。緊急体制も作られ、不審者対応訓練をおこなっています。
<p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は人権に関する研修を受けて共通理解をもって子どもたちに接しています。子どもにはわかりやすい言葉を選んで穏やかに話し、せかしたりすることはありません。 ・事務室などを臨機応変に使い、一対一で話し合える場所を作ったり、プライバシーを守る場所を作っています。 ・園長は守秘義務の意義や目的を職員に説明して周知を図り、職員は

	<p>誓約書に署名しています。また、個人情報に関する記録は施錠できる場所に保管しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや行事の役割は子どもたちの希望で決めており、制作などでも自由に好きな色を選べるようにし、性別による区別はしていません。また、無意識に性差に関わる先入観や固定観念で保育をしていないか、職員間でもお互いの気づきを伝えあい反省する仕組みがあります。
<p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には入園説明会や入園式、懇談会などで、保育理念、保育方針、保育目標を説明しているほか、玄関に掲示していつでも目にふれるようにしています。また、月に１回発行される園だよりで保育方針が日常の保育の中で理解されるように伝えていきます。 ・連絡ノートは全園児が持ち、保護者と連絡をとっています。乳児クラスは毎日家庭での様子、園での様子をきめ細かく情報交換しています。幼児クラスは必要に応じて記入しています。連絡帳は手渡しすることによって確実に保護者へ様子を伝えるようにしています。 ・個人面談は年１回実施するほか、随時保護者の希望によっておこなわれています。面談は担任のほか、主任、園長、看護師、栄養士など適切に対応できるように配慮しています。 ・年に３回クラス懇談会を開催し、保育内容・目的を説明し情報提供しているほか、ブログに力を入れ日々の保育の様子をわかるようにしています。 ・保護者会はありませんが、各クラスの保護者代表も参加する運営委員会があり、保護者と園とコミュニケーションを図っています。その議事録は公表されています。




評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一時保育、毎週水曜日の園庭開放、身長・体重を測るサービスなどをおこなう中で地域の親子の要望を聞く機会としています。また園庭開放の場で地域の親子の相談を受けています。 ・ 年度末の職員会議で地域の子育てニーズについて話し合う機会を設け、今年度の取り組みについては職員間で共通理解を持っています。 ・ 一時保育や園庭開放は実施していますが、地域住民に向けての講習会、研修会は開催していません。
<p>Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前予約で育児相談を実施し、園庭開放や見学者の育児相談には丁寧に応えています。ブログや「ヨコハマはぴねすぽっと」に載せたり、園舎に掲示するなど情報提供もおこなっています。 ・ 必要な関係機関、医療機関など相談機関とは日頃から園長が窓口になり、連携しており、職員は情報を共有しています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営




評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・ 地域コミュニティへの 働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の運動会、卒園式には第三者委員、オーナーを招待していますが、地域住民を招待するまでには至っていません。また、自治会に加入していないため、地域の団体や機関と定期的、計画的に交流するまでには至っていません。 ・ 散歩では日常から地域の方々と積極的に挨拶をし、交流を深めています。野菜の種や苗、カレーの材料を買いに行く体験を通してより良い関係が作られています。
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する 情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園のサービス内容などの情報を園のブログやパンフレットで、地域や関係機関に情報提供しています。また、横浜市のホームページ「ヨコハマはぴねすぽっと」や「ハマウー」という横浜女性向けサイトに保育園の情報を提供したり、旭区役所内の子育て保育園広場でパネル展示しています。 ・ 園のパンフレットに見学に関する問い合わせ先が明記され、問い合わせ時には見学できることを案内しています。また、旭区の広報誌、園舎の掲示版に見学が随時できることを案内しています。希望の日時にそって見学してもらっています。
<p>Ⅳ－３ ボランティア・実習の 受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、ボランティア受け入れのマニュアルはありません。また、受け入れの実践也没有ありません。 ・ 今後ボランティアの受け入れについて、マニュアルを整備し、効果的なボランティア受け入れに取り組む姿勢が望まれます。 ・ 実習生の受け入れのためのマニュアルがあります。 そこには保育理念、実習にあたっての心構え、守秘義務、書類確認などが記載されています。受け入れにあたっては事前に職員や利用者に説明しています。 ・ 効果的な実習がおこなわれるよう、学校側とも話し合い、プログラムを立案しています。日々の保育のふりかえりだけでなく、実習後は、園長・主任・看護師も出席して反省会をもっています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所運営に十分な人材構成であるかチェックし、必要な人材の補充は、園長が運営会社の人事部に知らせ、人事部がハローワークやホームページなどで募集をしています。運営会社の人材育成計画に理念・方針をふまえた保育を実施するように明記されていて、入職者は必ず運営会社で新人研修を受け、理念・方針について学習しています。さらに園でも新人には理念・方針をきちんと伝え、その後も必要に応じて研修を受けるなど取り組んでいます。 ・ 職員の研修ニーズにも配慮して主任が研修計画を作成しています。毎月職員会議の中に、外部研修の報告やケース検討等、内部研修の時間を設定しています。他に必要に応じて全職員を対象に、看護師が感染症に対応する保健衛生研修を行ったり、消防署に講師を依頼して救急救命法の研修を行ったりしています。 ・ 非常勤職員も必要な研修に参加しています。研修を受けた職員は、報告書に記入し全職員で共有するだけでなく、職員会議で報告しています。 ・ 非常勤職員にも業務マニュアルなどを職員同様に配布し、会議等に参加できなかった時も説明しています。非常勤職員の指導担当者は、通常傍にいるクラスリーダーが務めていて、必要に応じて主任、園長も指導していますが、職員間のコミュニケーションはよくとれています。非常勤職員も得意なこと、例えば読み聞かせなどの実践で、職員が学ぶこともあります。
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は運営会社の人事評価の書式により、半期に一度自己評価をしています。また、ケース検討等振り返りをしながら継続的に技術の向上に取り組んでいます。 ・ 指導計画は書式を定めて保育士が書き込み、意図した保育のねらいが達成されたか自己評価をして、クラス討議で確認しています。一人一人の自己評価をクラスで検討することにより、実践を振り返り改善し、次の計画に反映させています。 ・ 事業報告書でも、年度当初の計画の振り返りを行っています。しかし保育理念、子どもの発達援助、保護者支援、保育を支える組織的基盤等事業全般の自己評価を計画的に行い公表し、次年度の計画を導くような仕組みは未構築です。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主任、クラスリーダー、担任、係等経験や能力に応じて役割を持って実践していますが、期待水準として明文化するには至らず、運営会社としても検討中で次年度に明文化できる予定です。 ・ 職員がやりがいを持てるように、可能な限り権限を委譲し、責任を明確にしています。従業員アンケートを実施していますが、日常的

に職員が意見を出しやすい風通しのよい職場となっていて、0歳児の保育室の動線を考えたパーテーションの配置、スリッパの消毒方法、土曜日のシフト、リーダー会議の設定など、職員からの意見を取り入れた例は多くあります。

評価領域Ⅵ 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅵ－１ 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会社の就業規則の中に倫理規定が明文化され、全職員に配布され研修で周知しています。他園での不正不適切な事例を回覧したり話し合ったりして、そのような行為を行わないように啓発しています。 ・ゴミ減量化として生ごみの水切りを良くすることや、子どもへのペーパー類の使い方の指導等を行っています。飲み物等の容器を利用して、パーティーや椅子、おもちゃなどを作ったり、プリントの裏紙を有効活用したりしています。電灯やエアコンをこまめに消すなど省エネルギーの取り組みもしています。このように環境に配慮した取り組みは実践されていますが、園としての方針は明文化されていません。
<p>Ⅵ－２ 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に配布している業務マニュアルや園のしおり、事業計画等に、理念や保育方針、保育目標は掲載され、園の玄関にも掲示されています。職員会議等でも園長が確認し、行事の挨拶等に取り入れるようにしています。職員は保育課程、指導計画の作成時、理念や保育方針、保育目標に立ち返り話し合っています。特に理念の冒頭の「のびのび すくすく にこにこ」は職員が日常口にして、共感を持って実践しています。 ・各クラスの保護者代表と職員等で運営委員会を構成し、意見交換をしていて、運営委員会の話し合いについては、職員、保護者に報告されています。重要な意思決定については、職員、保護者に目的、決定理由、経過等を十分に説明しています。開園３年目なので、そのような事例は多くありませんが、例えば施設を解錠する鍵についての変更等が挙げられます。 ・運営会社の横浜エリアの主任会議、リーダー会議で主任クラスの育成に取り組んでいますが、文書化された育成プログラムは作成されていません。運営会社としても育成のプログラムは、現在検討中です。 ・主任は職員の能力や経験に合わせ、保育について助言したり研修を勧めたりしています。個々の職員が良好な状態で仕事に取り組めるように、声かけをしたり気配りをしたりしていて、ヒアリングでも「主任は話をよく聞いてくれ相談しやすい」「子育ての先輩としても安心して相談できる」という声を多く聞きました。
<p>Ⅵ－３ 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に影響のある国の政策、県・市の施策等の情報は、運営会社、マスメディア、区の園長会等から得て、職員に周知しています。重要な情報は、月１回本社で行われる太陽の子園長会で議論し、重点課題として設定されています。重点課題は職員に周知しています。園としては、さらなる地域交流や人材育成等を課題として取り組んでいます。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・運営会社で中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成しています。次代の組織運営に備え、待機児童の多い地区での保育園新設等、課題を明らかにして取り組み、園に周知しています。・幹部職員は計画的に後継者を育成しています。主任を育て系列園の園長候補として育成したり、リーダー保育士を主任として育成する研修等に取り組んだりしています。 |
|--|---|

利用者家族アンケート分析

【実施概要】

実施期間：2014年11月10日～25日

実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。

回収率：61.5%（配付52件、回収32件）

以下 文中の満足度とは「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合です。

【結果の特徴】

[問1]「保育目標、保育方針」について68.7%の保護者が「よく知っている」「まあ知っている」と回答し、またそのうちのすべての保護者が「賛同できる」「まあ賛同できる」と回答しています。今後はさらに保護者が保育目標、保育方針を理解する機会が増えることが望まれます。

[問2]～[問7]の回答でおおむね満足度は高く、特に[問4]保育内容の「遊び」については全項目で90%以上、[問5]快適さや安全対策などについては全項目で93%以上となり、満足度が非常に高い結果となりました。

一方 不満、どちらかと言えば不満、が見られた回答は以下の項目です。

- ・保育や行事に保護者の要望が活かされているか（15.7%）
- ・おむつはずしについて（34.4%）
- ・送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換（18.7%）
- ・お子さんに関する重要な情報の連絡体制（13.6%）
- ・保護者からの相談ごとへの対応（13.6%）
- ・残業などで迎えが遅くなる対応について（13.6%）

このうち特に不満が多かった項目は、おむつはずしについて、です。

「家と連動して進めてほしい」、「園での生活の方が長いので、積極的に進めてほしい」「あまりトイレに連れていってもらえていないようだ」「2才児クラスの夏にはオムツを外せるようにしてほしい」などの意見があります。今後、保護者の声を聞き、連携してすすめていくことが望まれます。

総合的な評価では90.6%の回答者が「満足」「どちらかといえば満足」と回答しています。

個別の意見では「温かい対応で非常にありがたい」「育児に関して相談に乗ってもらえてうれしい」、「アドバイスをしていただけてうれしい」、「親切に話しかけてくれて嬉しい」といった声もある一方で、「ときどき声かけしていただけると助かる」、「事務的で、温かさにかけると感じる職員もいる」との声もあります。安全面では「ブログにパスワードをかけてもよいと思う」、「ホームページに暗証番号を設定してほしい」、「運動会のセキュリティが甘い」といった意見もありました。

今後、保護者の心配を取り除き、さらにコミュニケーションを密にしていくことが期待されます。

利用者家族アンケート集計結果

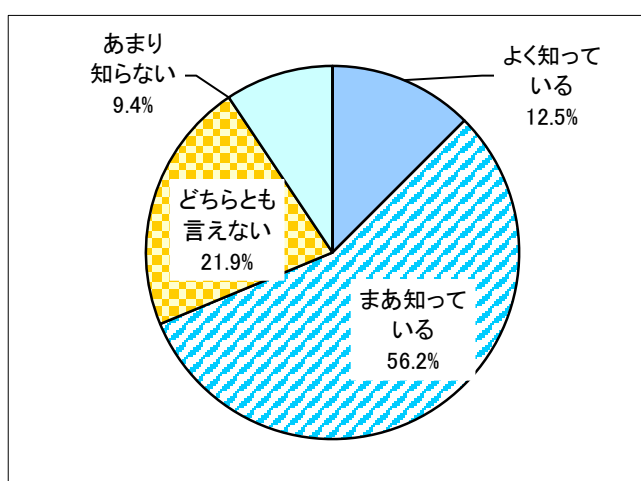
調査期間：2014年11月10日～25日

太陽の子 さちが丘保育園

回収率：61.5%（配布52枚中、回収32枚）

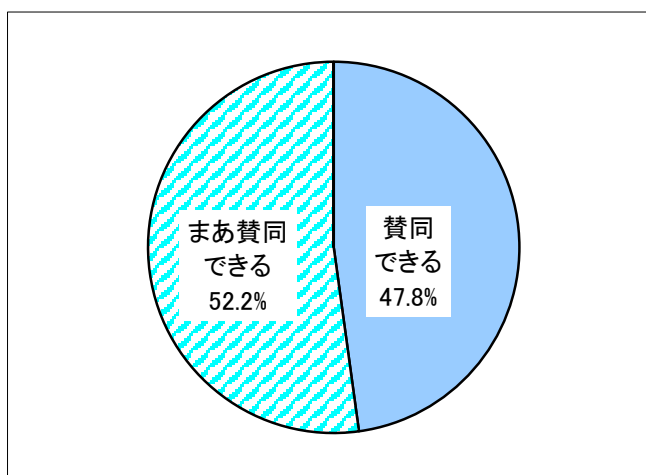
	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答	(人)
何歳児クラス	5	10	6	6	3	2	0	

問1:	よく知っ ている	まあ知っ ている	どちらとも 言えない	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	12.5	56.3	21.9	9.4	0.0	0.0	



付問1:

付問1:	賛同 できる	まあ賛同 できる	どちらとも 言えない	あまり賛同 できない	賛同 できない	無回答	(%)
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	47.8	52.2	0.0	0.0	0.0	0.0	



問2: 入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受入について	50.0	37.5	3.1	0.0	9.4	0.0	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供について	34.4	53.1	6.3	3.1	3.1	0.0	
園の目標や方針についての説明には	34.4	59.4	3.1	3.1	0.0	0.0	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	37.5	53.1	6.3	0.0	3.1	0.0	
保育園で1日の過ごし方についての説明	37.5	53.1	6.3	0.0	3.1	0.0	
費用やきまりに関する説明には	37.5	53.1	9.4	0.0	0.0	0.0	

問3: 年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	34.4	56.3	9.4	0.0	0.0	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか	31.3	46.9	9.4	6.3	6.3	0.0	

問4: 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
クラスの活動や遊びについては	68.8	21.9	6.3	0.0	0.0	3.1	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	75.0	15.6	9.4	0.0	0.0	0.0	
園のおもちゃや教材については	71.8	28.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	56.3	43.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分持っているか	65.6	28.1	6.3	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	56.3	43.8	0.0	0.0	0.0	0.0	

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
お子さんが給食を楽しんでいるか	65.6	31.3	3.1	0.0	0.0	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについて	62.5	34.4	0.0	0.0	3.1	0.0	
昼寝や休息がお子さんの状況に応じて対応されているか	59.4	31.3	9.4	0.0	0.0	0.0	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか	25.0	15.6	31.3	3.1	21.9	3.1	
お子さんの体調への気配りについて	56.3	37.5	3.1	3.1	0.0	0.0	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	43.8	40.6	9.4	3.1	3.1	0.0	

問5: 快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備について	62.5	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか	53.1	43.8	3.1	0.0	0.0	0.0
外部からの不審者侵入を防ぐ対策について	56.3	40.6	3.1	0.0	0.0	0.0
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について	62.5	31.3	6.3	0.0	0.0	0.0

問6: 園と保護者との連携・交流について

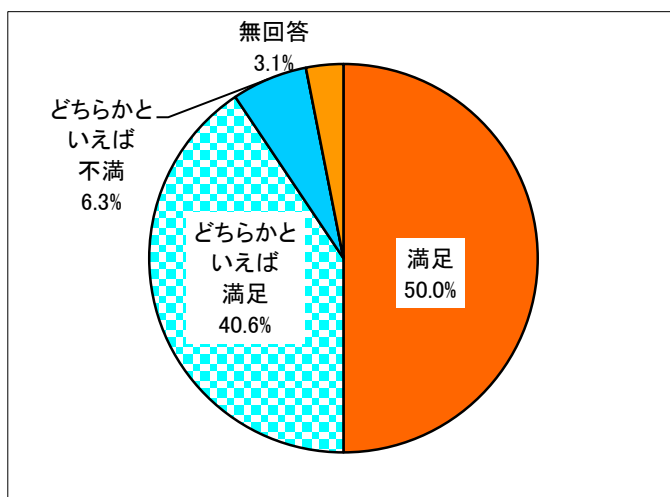
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について	34.4	62.5	3.1	0.0	0.0	0.0
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について	68.8	28.1	3.1	0.0	0.0	0.0
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	59.4	37.5	3.1	0.0	0.0	0.0
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換について	40.6	40.6	15.6	3.1	0.0	0.0
お子さんに関する重要な情報の連絡体制について	40.9	36.4	13.6	0.0	9.1	0.0
保護者からの相談事への対応には	45.5	40.9	9.1	4.5	0.0	0.0
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる対応には	36.4	36.4	13.6	0.0	13.6	0.0

問7: 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているか	50.0	40.6	3.1	3.1	3.1	0.0
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているか	59.4	37.5	3.1	0.0	0.0	0.0
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮について	43.7	37.5	0.0	6.2	6.2	6.2
話しやすい雰囲気、態度であるかどうか	56.3	31.3	9.4	3.1	0.0	0.0
意見や要望への対応について	40.6	43.8	6.3	3.1	6.3	0.0

問8: 総合的な評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	50.0	40.6	6.3	0.0	3.1





利用者本人調査

【実施概要】

■実施日時：2015年1月14日、1月16日

■実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

■0歳児クラス

「おやつにしようね」と言ってパーテーションを開け、子どもたちは窓側から廊下側のスペースに来て着席します。保育士が「先生おはよう」の歌を歌います。すると月齢の高い子どもは手をたたいたり、頭をさげたり、保育士の真似をします。あいさつをした後、近づいてひとりずつ名前を呼び、タッチします。手を消毒した保育士がエプロンを配り、手を拭いていきます。「一緒にいただきます」で、おやつです。食べ終わったらタオルで口を拭き、自分のロッカーのかごに入れます。ジャンパーを着せてもらい、帽子をかぶります。お友だちに帽子をかぶせてあげる子もいます。靴下、靴を履かせてもらい、バギーですぐそばの園庭に行きます。

バギーから降ろしてもらったら、好きな方向によちよち歩いていきます。保育士がシャボン玉を吹くと近づいてきて、空を見上げたり、手でさわろうとします。次は布です。保育士二人で持ち、わらべうたを歌いながら上下に揺らします。下をくぐったり、中で止まって手を伸ばしたり、楽しんでます。フェンス越しに通る車を見ている子もいます。フープを出したり、スズランテープの滝を出してくぐれるようにしたり、保育士は次々と遊びを提供します。人工芝が柔らかく、転んでも誰も泣きません。おもちゃを取り合うこともなく、日当たりのよい園庭で40分ほど遊び保育室に戻ります。オムツ交換を順にもらった後、手を洗います。食事は、自分で食べたい気持ちが尊重され、ゆったりとした雰囲気です。

■1歳児クラス

玄関に並んでいる靴を履きます。「仕上げは先生」と言って保育士は履けているか確認します。4人は立ち乗りのバギーに乗り、他の子どもたちは二人ずつ手をつなぎ、保育士とも手をつなぎます。「ゆずが黄色いね」「赤い葉っぱがあるね」など声をかけながら歩く速度に合わせてゆっくり行きます。バギーに乗るのは月齢でなく、希望や子どもの様子を見て決めています。通りを行く人には保育士がかならず挨拶して行きます。遊歩道に着きました。「霜があるね」「きらきらしているね」など周りの様子を話す間、他の保育士は安全確認をします。「先生のポケットから何が出てくるかな？」次々スーパーの袋の風を出し、配ります。もらうとすぐに走り出す子もいます。走ると風をはらみ風らしいです。子どもたちは表情もよく、ひとしきり風で遊びました。園までまた子どもたちのペースでゆっくり歩いて帰ります。

靴下を脱ぎ、「仲良しさんして」と言われると左右を合わせ、靴下入れの自分の名前の所に入れます。部屋に戻り、手を洗った後は、自由におもちゃを取り出して遊びます。ままごとやブロック、絵本、コイン（紙で作ってある）落とし、などです。「順番におむつをかえましょう」名前を呼ばれたらマットの所へ行き、ズボンと靴下を脱ぎ、新しい紙パンツに履き替えます。お尻に持ち上げるのが難しい子どもには手伝っています。食事は2台のテーブルとアレルギーの子どもが1人用のテーブルに座ります。「お手々をぱっちゃんいただきます」をした後、配膳された子どもから食べ始めます。まだ手づかみの子もいますが、皆、勢いよく食べています。どの子どもたちも残さずよく食べます。お昼寝は布団です。

■2 歳児クラス

トイレには交替で行きます。トレーニング中の子どもはトイレの中のマットの上で紙パンツを脱ぎ、便座に座る子もいれば、持っていった新しい紙パンツに履き替えるだけの子もいます。手を洗って戻り、テーブルにつきます。手遊び、読み聞かせの後、「先生おはよう」の歌を歌います。「お話していいですか？」「いいですよ」名前をよび、欠席者を知らせます。

おやつを食べた後は散歩に行きます。靴下・帽子・ジャンパーが入っているかごから自分の物を取り、支度をします。できないところは保育士が手を貸しています。

2人ずつ手をつなぎ歩きます。遊歩道に着きました。他の保育園の子どもたちがいます。挨拶して場所を分けて遊びます。前日の雨のために土手滑りができないので、10メートルほど離れた両側に保育士が立ち、駆けて来る子どもたちを腕に抱きとめる、のを何度も繰り返します。その後持ってきた風船をふくらませ、全員で集中して遊びます。30分ほど遊んで園に戻ります。

読み聞かせは皆よく聞いています。3台のテーブルにつきます。エプロンをして「ごはんの歌」を歌います。献立の説明を受けた後、「お手々をぱっちゃんいただきます」で食べ始めます。皆よく食べておかわりをする子も多いです。遅い子どももせかさずゆっくりその子のペースで食べます。食べ終わった子は歯を磨いてもらい、水道の所で口をゆすぎます。パジャマに着替えてからトイレに行きます。パジャマは袋に入っているのを自分で出して着替え、着ていた洋服はその袋にいれます。保育士が要所で手伝っています。お昼寝はコットでします。やさしくとんとんしてもらい次々眠りにつきます。

■3 歳児クラス

散歩に行きます。歩く時の注意、保育士間の声かけは密にしています。子どもたちはおしゃべりしながら列を乱すことなく、歩いて行きます。公園にはすでに他の園の子どもたちがいました。他園の保育士と遊ぶ場所の確認をし、安全確認をした後、子どもたちに知らせます。「今日は最初に広場で遊びます。ブランコは×」と手で大きな×を作って見せます。広場では「おおかみごっこ」という鬼ごっこします。おおかみは帽子を裏返してわかるようにしています。保育士2人も中に入り、一緒に走り回ります。鬼ごっこを楽しんだ後、他園の子どもたちが帰ったのでアスレチックに移動し遊びます。

帰る時間になりました。「お土産を拾って帰るよ」の声に広場の周りの土でどんぐりや落ち葉を拾い、保育士の持っているビニール袋に入れます。保育士が遊びにきている同じ年頃の母子に声をかけ穏やかな会話をしています。ベンチにすわっている老人に挨拶し、子どもも笑顔で答えています。帰りはお腹がすく子どももいて疲れがみえます。「帰ったら給食よ、頑張って」と励まされながら歩きます。

当番がエプロン、三角布をつけ、口拭きタオルを配ります。配膳は保育士がします。今日の食材を説明しながら、子どもたちに「からだがおおきくなる」「げんきになる」「ねつとちからになる」のどれにあたるか聞き、掲示します。子どもたちは皆よく知っています。ごはんの歌を歌った後、「いただきます」をします。減らしてほしい子どもは保育士に言って減らしてもらっています。拾ってきたどんぐりなどは小さな容器に入れてテーブル中央に飾られています。おだやかにゆったり食べます。食事が終わると席に座って歯磨きをし、口をゆすいだ後、パジャマに着替えます。

4・5歳の部屋にコットをひいて、4歳児と一緒に寝ます。

■4 歳・5 歳児クラス

今日は少し遠い南本宿公園に行きます。子どもたちは支度をして、クラスごとに並んで写真を撮ります。「迷子になった時のためだからよく見えるように立ってね」散歩の時の注意を聞いてから4・5歳で手を

つなぎ散歩に出発します。保育士はすれ違う地域の人たちとにこやかに挨拶します。いつも車道側に5歳児がなるように、5歳児は位置を気にしながら30分歩いて公園に着きました。

「何をして遊びたい？」子どもたちの声を聞いている間に他の保育士が安全点検をします。アスレチックのような遊具で遊びます。順番を抜かすことも、取り合うこともありません。4歳児には難しい箇所もありますが、誰もせかすことなく、5歳児が「ここに足を伸ばすといいよ」と優しく教え、また、保育士もさりげなく手を貸しています。遊具から離れ広場で走り回って遊ぶ子どもたちが増え、ジャンパーを脱ぐ子どももいます。特に鬼ごっこのようなルールのある遊びではありません。土の所はぬかるんでいて滑り、派手に転ぶ子もいます。が、すぐに立ち上がり、また走りだします。子どもたちは「霜柱があるよ、見て」など調査者に声をかけてきます。

「探検に行くよ」「手はつながなくてもいいよ」パーク菜園にはいろいろな野菜が植えられています。保育士が夏に植えた野菜を聞くとしっかり答えています。葉っぱやどんぐりを拾いながら林の中の遊歩道を歩いて行きます。小鳥の声や落ち葉を踏みしめる音に耳を澄ませたりします。45分ほど公園で遊びました。帰ったら給食です。当番はエプロン・バンダナをつけ、4歳児はテーブルを拭き、コップ・箸・デザートを配ります。保育士が残りを配膳します。5歳児はトングやしゃもじで副菜・主食を取り分けます。保育士は汁物を入れます。メニューを保育士が説明、みんなで食品が前の表（からだのもとになるたべもの・からだをつくるたべもの・からだのちょうしをよくするたべもの）の何にあたるかを言います。「そうだね」と言いながら食品のカードをかけていきます。なごやかな雰囲気です。おかわりもしています。

4歳児は3歳児と昼寝をします。

5歳児は3歳児の部屋に移動します。20分ほどマットの上で身体を休めます。疲れている週末はそのまま寝てしまう子もいるそうですが、眠る子どもはいませんでした。絵本を静かに読んだ後は自由に遊びます。ブロックや塗り絵などを3,4人ずつかたまっています。そして、1～3歳児の寝起きの時間に手伝いに行き、着替えを手伝ったりおやつと一緒に食べたりします。



事業者コメント

開園 3 年目を迎え、初めての第三者評価受審でしたが、保育園全体の振り返りをすることが出来て、とても有意義なものになりました。

昨年度から、自己評価について職員間で話し合い、評価を繰り返せるように、クラス単位で年間を通しての事例検討を行ってきました。その中で振り返りや評価、反省をすることの大切さを身につけてきたように思います。

今回の自己評価でも、個人の意見を持ち寄り、話し合いの中でひとつの物にしていくという過程を楽しむ余裕もあったように感じます。

これからも「のびのび すくすく にこにこ」というシンプルでも、子どもの育ちの基本になる理念に基づき、安心、安全な保育園の運営に職員一同、努力していきたいと思っております。

在園児の保護者の皆様、お忙しい中アンケートのご協力をありがとうございました。多数の保護者の方にご協力いただいたことを大変嬉しく思います。貴重なご意見を今後の課題と捉え、保育の質の向上に繋げていきたいと考えています。

評価機関の方々も年明けの忙しい受審時期でしたが、ご尽力いただきありがとうございました。そして何より、保育園の良いところを再認識させていただき感謝しております。

福祉サービス第三者評価 評価機関

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 認証番号 2510-002-01

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

<http://www.yresearch-center.jp>

